

よもやま学園

てんもんび

天文部

冬の星空編



わからんちゃん



ほんまがいな君



よもやまがたる君



よもやま学園 がくえん

天文部

冬の星空編



よもやま学園天文部の3人の星見会は、
とってもシンプル。星空を見ながら
思いついたことをたんと話し合うだけ。
さて、今夜はいったい何を話し合うのでしょうか？

(約 22 分)

キラキラ星のひみつ

寒～い冬。夜空には満天の星々がキラキラとまたたいています。
丘の上の3人は、とっても寒そう。
部長のよもやまかたる君が、部員のらんちゃんとかいな君に、星がなぜまたたくのか、と質問します。それに対してさっそく珍問答をするふたり。まばたき？ 肩たたき？ 本当の理由は？



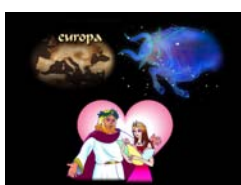
冬の六角形と温度くらべ

寝袋にくるまって星を眺める3人。冬の代表的な星座から1等星を見つけ、そこから六角形を作るのですが、星には色々な色があることを発見。その色には温度の差があることも気がつきます。さて、赤い星と青白い星ではどちらの温度が高いのでしょうか？



ギリシャ神話でちょっと一服 ～おうし座の神話～

むかしむかし、地中海のフェニキアに、エウロバ姫という美しい娘がいました。ある日、海辺近くで遊んでいると、一頭のまっ白なおうしが近づいてきました。エウロバ姫をせなかに乗せると、突然、海の中へ入っていくではありませんか！ いったいどこへつれて行くのでしょうか？ らんちゃんとかいな君がそれぞれ解説します。



色々な星雲・星団 ～やみの中からこんばんは～

冬の大きな三角形の中には、伝説の動物いっかくじゅうの星座が隠れていて、そこにはきれいな花が咲いているんだよと、かたる君に言われて、らんちゃんとかいな君は一所懸命目をこらして夜空を見つめますが…。いったい何があったのでしょうか？ 色々な星雲・星団を紹介しながら、恒星系生成の生成段階で見られる原始惑星系を説明します。



今日の星見会の復習

おなががすいた3人は、部室でおでん鍋をつつきながら、今夜の復習会をしています。はんぺんを冬の大きな三角形に見立てたり、たまごでオリオン座の星のたまごを思い出したり、話はつきません。みんなこの太陽系で生まれて、こうして出会えたことを感謝しながら、おでんをいただきます。
仲がいいのか悪いのか、どう見ても人類とはほど遠いこの3人。彼らはいったい何者なのでしょう。なぜはなぜのまま、夜はふけていくのでした。

